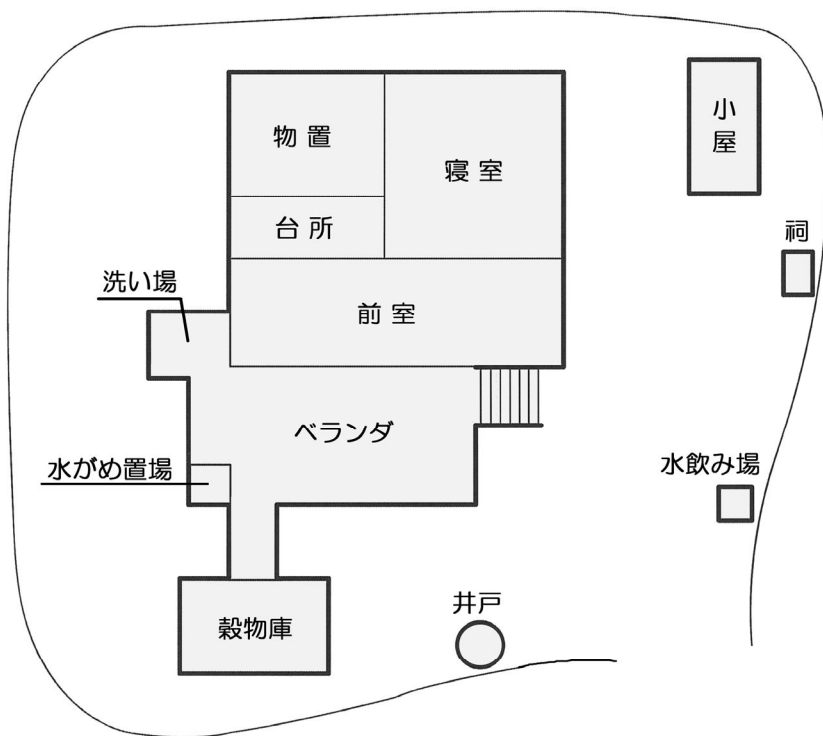


タイ ランナータイの家

タイ北部の平野^{へいや}にあるランナータイ^{らんなんたーたい}地方で、水稻耕作^{すいとうこうさく}をしている人びとの家です。高床^{たかゆか}の家屋^{かおく}には、食事や作業の場になるベランダと、寝室^{しんしつ}、かまどのある母屋^{おもや}と穀物庫^{こくもつこ}があります。床下^{ゆかした}は作業場、物置^{ものおき}、家畜小屋^{かちく}として利用されます。

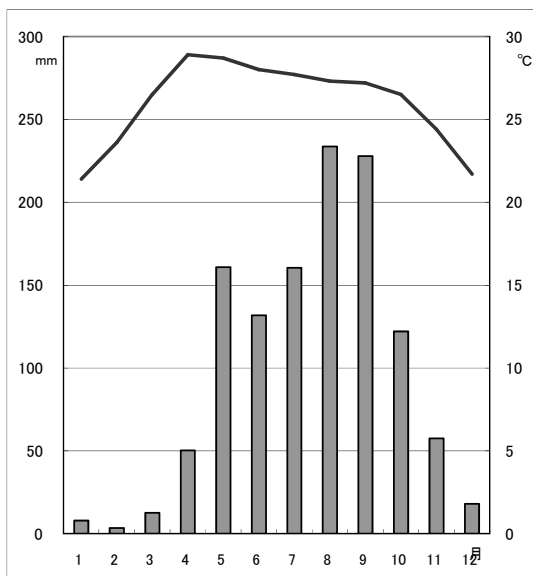


【ランナータイとは】

「ランナータイ」は13世紀^{せいき}の末から20世紀^{すえ}の初めまで、チェンマイ^{ちんまい}を中心にタイ北部の山間盆地^{さんかんぼんち}を支配^{しはい}していた王国の名前で、独自の文化や美術、言語などを持っていました。人口の多くはタイ・ユアン^{どくじ}と呼ばれるタイ族系^{こけい}の人びとです。

きこう しつけ 気候と住まい：暑さと湿気をやりすごす

ランナータイ地方の気候は、
季節風によって5月から11
月にかけての雨期、11月か
けの4月にかけての
乾期にわかれています。右の
降水量をあらわす棒グラフ
で、雨期と乾期の違いが、
はっきりとわかります。年間
平均気温は25.9℃もあり、
年間を通じて20℃以上と
なっています。犬山の年間平
均気温は15.8℃で、10℃も
差があります。



ランナータイの月別平均気温と降水量

たかゆかしき 【高床式の家屋】

地面からの湿気が屋内に入りにくくするために、床を高くしています。また、
床下を風が抜け、涼しくする工夫でもあります。さらに、雨期には
たくさんの雨が降り、一帯が水浸しになることもあります。屋内に水が
入らないように、高床には洪水対策の役目もあるのです。

だいさく 【雨対策の屋根】

家屋の屋根は雨が多いため、水切れが良いように、薄い素焼きの瓦を葺き、
傾斜を強くしています。

ざい かおく 【チーク材の家屋】

タイ北部はかつて良質なチーク材の産地でした。チーク材は硬く、耐久性に
富むため湿度の高いこの地の家屋の材料としては最適なものでした。